

地区名	日吉地区	番号	1
タイトル	太陽光発電設備の設置について		
ご意見の内容			
<p>現在、日吉町や瑞浪の至る所で太陽光発電のパネルが設置されている。歴史や自然とのふれあいを楽しみに多くの方が中山道散策に訪れているが、その道沿いにパネルが次々に並べられ景観を損ねており残念である。</p> <p>また、地元住民宅に隣接する場所に突然パネルが設置されるため、パネルの設置に関して住民の同意書を必要とすることを条例に組み入れていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>国が再生可能エネルギーの活用を施策として推進しており、瑞浪市内においても太陽光発電設備等の設置が増えている。そのような現状を踏まえ、市では令和2年4月に「瑞浪市における再生可能エネルギー発電設備の設置と自然環境等の保全との調和に関する条例」を制定した。ただし、一定規模以上の事業が対象となり、小規模のものについては規制がかけられていない状況である。条例は土砂災害警戒区域や急傾斜地危険区域等の事業抑制区域を指定するとともに、事業者に対し住民説明会の開催や市との協議を定めているが、同意を求めることまではハードルが高く、踏み込めない現状である。事業者に対し地域住民への丁寧な説明や対応を指導していきたい。</p>			

地区名	日吉地区	番号	2
タイトル	日吉町の人口を増やす3つの提案①		
ご意見の内容			
<p>(1) 日吉小学校に放課後教室の新設 古民家を買って春日井市から移住した方が、放課後教室がないことにより他の地区に引っ越された。放課後教室がないために、日吉町来ていただいた方が他の地区に引っ越しされることが残念でならない。早急に放課後教室の新設をお願いします。 3人の子どもを育てているが、小学校に上がるタイミングで放課後教室がなく、子育てのしづらさを日々実感している。日吉町には放課後や長期休暇に子どもを見てもらえる場所がない。以前、学童はあったものの長期休暇のみの季節学童であり、人数が少ない日吉町では資金面から運営が難しく、また一部の保護者にかなりの負担がかかることから今年の3月に閉鎖となった。 他市で放課後教室をやっているという話を聞き、放課後や長期休暇の子どもの預け先に悩んでいる保護者のためにも日吉で導入してはいかがか。日吉は他地区と比べ、子育て支援が手薄に感じている。私も子どもが小学校に上がるタイミングで退職した。瑞浪市内で子育て支援に格差があるのは問題である。早急に放課後支援をしていただける場を設けていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	社会教育課 子育て支援課	
<p>(1) 瑞浪市は学童保育の制度を採用しており、保護者が中心となって組織を立ち上げ、市が支援をし、運営が行われている。日吉町では平成27年に季節学童が立ち上がったが、令和3年度をもって廃止となった。 現在、コミュニティ・スクールを各学校でスタートしており、地域で子どもたちを育成していくことが大きな基本コンセプトであることから、コミュニティ・スクールの参加者と共に放課後教室の開設も視野に入れながら協議をしたいと思う。</p>			

地区名	日吉地区	番号	3
タイトル	日吉町の人口を増やす3つの提案②		
ご意見の内容			
<p>(2) 日吉で働く町外の人々に住居及び宅地の斡旋 町外の人達が働く企業に、日吉町の住居アンケートの実施、空き家・空き地の売却希望者の調査。</p> <p>(3) 将来日吉町に住みたい人達のための環境改善 悪臭の規制。現状では、悪臭の規制は難しいので、悪臭の報告をするシステムを作る。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課 環境課	
<p>(2) 市では移住定住のパンフレットやポータルサイト、ポスターによる発信を行っている。現在、株式会社アイシン瑞浪と協定を結び、社内や食堂に瑞浪市の移住定住コーナーを設け、社員に発信している。 空き地・空き家バンクについては登録物件が少なく、優良物件が少ないことから瑞浪を選んでいただけないことも課題となっている。希望される方に選んでいただけるよう物件数も増やしていかなければならない。</p> <p>(3) 企業と交渉するためには実態を的確に伝えなければならない。悪臭調査のデータの分析、企業への改善のお願いは、市の環境課も一緒にやらせていただきたい。</p>			

地区名	日吉地区	番号	4
タイトル	空き家を活用した多世代交流空間の創出		
ご意見の内容			
<p>日吉では毎年空き家が増加しており、地域の課題となっている。現在、空き家が76軒程あり、空き家バンクの登録に向けた取組を日吉町まちづくり推進協議会が区長会との協力のもと進めているが、今後も空き家の増加は否めず、新たな取組みが必要か考える。空き家を活かして多世代がいつでも交流できるような楽しい拠点を作り、駅前だけでなく、日吉の山里の良さを活かした場所の提供をすることで、移住定住の促進につながればと思う。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課	
<p>人口維持のためには、まち全体の魅力を発信することが大事である。瑞浪市の素晴らしさは自然豊かなところであり、学園都市として教育環境がそろっているところである。瑞浪市に移り住み、子育てをし、教育を受けるには素晴らしい選択肢が身近にあることを発信していく必要がある。瑞浪市の魅力を集約して発信し、興味を持っていただくことを引き続きやっていきたい。その具体例が空き家バンクであり、住環境の整備をしっかりとやっていきたい。</p>			

地区名	日吉地区	番号	5
タイトル	瑞浪市体育協会の運営について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市の市民体育大会の競技種目は16種目あるが、子どもや高齢者、障がい者が行うスポーツが少ないように思われる。瑞浪市でも少子高齢化が急速に進んでおり、今後は瑞浪市民の健康寿命を延ばすためにも、子どもから高齢者、障がい者までできるスポーツを普及し、市民体育大会の種目に取り入れてはいかかがか。例えば、ポッチャは性別、年齢、体力差に関係なく、初めて体験する人でも気軽に楽しむことができるスポーツである。子どもや高齢者、障がい者、認知症の方が1つのチームとなって参加し、お互いに交流できる場を作るとよい。ポッチャは認知症の予防や進行を遅らせる効果があり、深沢区でも普及していきたいと考えている。</p>			
市長の回答	担当課	スポーツ文化課	
<p>瑞浪市体育協会の主催により市民体育大会が開催されている。また、高齢者を対象とした様々な活動は長寿クラブ連合会が中心となり行われている。瑞浪の運動推進の中心は体育協会であり、障がい者の方でもできる種目の要請を行っていきたい。</p> <p>瑞浪市民体育大会は、瑞浪市体育協会に加盟している各競技協会の運営により競技が行われている。現在、瑞浪市体育協会に加盟している競技協会には障がい者の方でもできる協会がないため、加盟していただき、競技運営を行っていただければ、市民体育大会の種目として行うことができると考える。</p>			

地区名	日吉地区	番号	6
タイトル	(1) 町内の開発事業について (2) 市長と語る会の開催方法について		
ご意見の内容			
<p>(1) 町内の開発事業について 南垣外の弁天池のアヒルの計画とキャンプ場計画についてはご存知であるか。 アヒル計画については、最初に事業説明会が各地区だけに行われたが、弁天池はまちづくりや文化財として環境整備されており、そういったところに話がなく事業が進んでいる。「観光都市瑞浪」を市長が目指しているにも関わらず、地権者との話が知らない間に進んでいる状況である。 キャンプ場についても、通行に難儀であると地域で話が出たにも関わらず既に工事に入っている状況である。 申請書が出たらまずは地元で説明会を開催する必要がある、地権者との約束だけで話が進めば、困った問題が地域に起こってくる。市が定期的に立ち入り調査に入っていないということも聞いている。環境調査については定期的にしっかりと行っていただきたい。</p> <p>(2) 市長と語る会の開催方法について 今日の市長と語る会でも70名程の参加者のうち5、6名程しか発言していない。小グループに分けて忌憚のない意見を日吉町の実態として捉えていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	家畜診療所 都市計画課 企画政策課	
<p>(1) アヒルの飼育計画、キャンプ場計画については聞いている。市としては、申請がきた段階で地元住民に説明会を開き、意見を聞くよう指導している。アヒルの飼育計画、キャンプ場計画については現状を確認し、区長会長に報告させていただく。地元の声が一番であり、地元の総意を業者に訴えることが抑止力になる。 アヒルの飼育計画につきましては、7月20日に計画事業者より事業を白紙撤回すると文書が提出された。 なお、キャンプ場については民間事業者の計画であり、市では一定規模の造成がない限り計画を把握することができないことをご了承いただきたい。</p> <p>(2) ※当日未回答 現在の市長と語る会は、地区の皆さんから事前に意見を提出いただくことにより、市として責任のある回答をするようにしています。限られた時間の中で行うため、ご了承いただきたい。</p>			